

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成20年11月13日(2008.11.13)

【公表番号】特表2008-515354(P2008-515354A)

【公表日】平成20年5月8日(2008.5.8)

【年通号数】公開・登録公報2008-018

【出願番号】特願2007-534799(P2007-534799)

【国際特許分類】

H 04 J 13/00 (2006.01)

H 04 L 25/49 (2006.01)

【F I】

H 04 J 13/00 Z

H 04 L 25/49 C

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月26日(2008.9.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

無線受信機を作動させる方法であって、

第1のアナログ符号語フォーマットに従って配列された第1の複数のウェーブレットを使用して、受信した無線信号に対して第1の動作を実行するステップと、

前記第1の動作を実行した後で、第2のアナログ符号語フォーマットに従って配列された第2の複数のウェーブレットを使用して、前記無線信号に対して第2の動作を実行するステップと、を含み、

前記第1のアナログ符号語フォーマットが前記第2のアナログ符号語フォーマットとは異なる方法。

【請求項2】

前記第2の動作を実行した後で、第3のアナログ符号語フォーマットに従って配列された第3の複数のウェーブレットを使用して、前記無線信号に対して第3の動作を実行するステップをさらに含む請求項1に記載の無線受信機を作動させる方法。

【請求項3】

前記第1の動作が取得および同期のうちの一方であり、

前記第2の動作が信号トレーニングであり、

前記第3の動作が、データの鮮明な送信、データのセキュアな送信、および距離測定のうちの1つである請求項2に記載の無線受信機を作動させる方法。

【請求項4】

無線デバイスであって、

複数の第1のマルチプレクサ入力信号を供給するための複数の格納符号語レジスタと、

第1のマルチプレクサ出力信号として通過させるために、前記複数の第1のマルチプレクサ入力信号のうちの1つを選択するための第1のマルチプレクサと、

前記第1のマルチプレクサから前記第1のマルチプレクサ出力信号を選択的に受信し、複数の第2のマルチプレクサ入力信号を供給するための複数の演算用符号語レジスタと、

第2のマルチプレクサ出力信号として通過させるために、前記複数の第2のマルチプレクサ入力信号のうちの1つを選択するための第2のマルチプレクサとを備え、

前記複数の演算用符号語レジスタの各々が、前記無線受信機の異なる動作中に使用するための符号語を格納する無線デバイス。

【請求項 5】

上部符号語信号として供給すべく、前記第2のマルチプレクサ出力信号の第1の部分を格納するための上部符号語レジスタと、

下部符号語信号として供給すべく、前記第2のマルチプレクサ出力信号の第2の部分を格納するための下部符号語発生器と、

前記上部および下部符号語信号と、第3のマルチプレクサ出力信号のうちの1つとを順次選択するための第3のマルチプレクサと、をさらに備える請求項4に記載の無線デバイス。